

西村和子選・秀逸 10句

深山に陽を見上げいる狐あらん

神奈川県立横浜翠嵐高等学校2年

佐藤翔斗

石鱗玉言葉は意味へ急ぐなり

愛媛県立松山西中等教育学校5年

福原音

おしやべりの呼吸糸を編む呼吸

洛南高等学校2年

大西遼

燈籠の揺蕩ふうちに雲流る

福岡県立筑紫丘高等学校1年

榑藤洸人

霞草ひかり抱くごと受け取りぬ

熊本県立熊本高等学校2年

菊川和奏

初写真いつも誰かの抜けてをり

興南高等学校2年

安里恒作

金星の光まっすぐ冬夕焼

神奈川県立横浜翠嵐高等学校2年

伊集院亜衣

ゆく年や画鋏に残る切れつ端

開成高等学校2年

折井森音

冬萌や人の匂いの自習室

愛媛県立松山東高等学校1年

武田歩

足音は今日から一人春の月

和歌山県立桐蔭高等学校2年

松本梓

岸本尚毅選・秀逸 10句

夕立のせまる速さは砂時計

盛岡中央高等学校1年

藤澤まつり

沖風の戸を叩きつつ空の風

慶應義塾湘南藤沢高等部1年

小林彩恵

月冴える既読になった「会えますか？」

東野高等学校2年

渡邊弘樹

見えずとも掴めるような桜の音

山梨県立甲府西高等学校2年

磯野瑠翔

酒あおる父の姿と梅の花

宮城県小牛田農林高等学校1年

千葉琴羽

春雲放課後ひとり読む『こころ』

仙台白百合学園高等学校2年

田崎円

昨日まで虹を知らない猫であり

立教池袋高等学校1年

石井悠真

ライオンは人を見飽きて夏の果

立教池袋高等学校3年

久米佑哉

嘴に雪を挟みし鳥跳ぬ

北海道旭川東高等学校2年

久木崎葉菜

歩けと言わんばかりに線路秋の風

岩手県立水沢高等学校3年

菅原はなめ

高柳克弘選・秀逸 10句

雨に影しつかりとある冬菜畑

開成高等学校2年

須藤凧斗

厳冬や絵文字は常に笑ってて

秋田県立秋田西高等学校3年

進藤凜華

図書館を出られなくなる秋の蝶

神奈川県立横浜翠嵐高等学校3年

原唯菜

賀状撒く私父母私

福岡県立明善高等学校1年

和田詩織

面接の順番待つてゐて初音

聖マリア女学院高等学校2年

向井亜美

おほかみの墨色のこゑ響きけり

洛南高等学校2年

大西遼

ジャケット脱ぐ働けばとりあへず大人

北海道旭川東高等学校2年

城田有梨

数学に晩夏のジャスミンティーぬるし

熊本県立熊本高等学校2年

菊川和奏

花冷えや無様な塗り絵のような街

愛媛県立松山西中等教育学校5年

福原音

カーデイガン宇宙のことを学びつつ

岩手県立水沢高等学校3年

村上瑛